

東御市スポーツ推進計画前期アクションプラン進捗管理総括表

評価方法「S」…目標以上に実施、目標以上の効果を上げた実施 「A」…目標どおりに実施 「B」…一部目標未達成、目標以下の効果で実施 「C」…大部分目標未達成 「―」…やむを得ず中止

| 基本目標                             | 基本施策                          | 個別施策                     | 取組名                                | 基準値<br>(令和元年度)                    | 目標水準<br>(令和3年度)        | 担当課    | 令和2年度実績  | 令和2年度<br>評価 | 評価に対する意見・要望等   | 令和3年度中間   | 令和3年度<br>中間評価 | 今後の方向性<br>(具体的な見直し、改善等)   |
|----------------------------------|-------------------------------|--------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|------------------------|--------|--|-------------|--|---|---------------|---|
| 基本目標1<br>生涯にわたってスポーツに親しむ子どもたちの育成 | 1-1<br>運動遊びによる就学までのスポーツの土台づくり | ① 発達を促す基礎となる親子ふれあい遊びの推奨  | 1. 東御の子ども元気な育ちを支える事業<br>P2         | ①7回実践<br>103人参加<br>②8回実施<br>84人参加 | 継続実施<br>①6回実施<br>②8回実施 | 子育て支援課 | ①7回実践<br>113人参加<br>②8回実施<br>156人参加   | B           | ・コロナ禍において、最大限の努力の実績。次年度においてもより多くの子どもたちのかかわりを期待。<br>・幼少期の遊びを通して健康で想像力の逞しい人間へと成長していきます。特に外遊びを通じて危険を察知し回避する能力も養われます。親子で楽しく学べる取り組みだと思えます。  | 市内公園や里山で、親子や子ども同士で遊びを生み出し、自然を感じながら外遊びの楽しさを知ったり、幼児期に必要な多様な動きを経験できるよう、親子運動あそびや自然活動体験などを実施している。<br>子育て支援センターに砂場や遊具等を設置し、施設内外で親子で遊べる環境を整えている<br><br>①3回実施 58人参加<br>②3回実施 64人参加  | A             | 目標を達成し、事業が定着したことから後期アクションプランには掲げない。                                       |
|                                  |                               |                          | 2. 子どもの育ちを支える人材育成事業<br>P3          | 1回開催<br>37人参加                     | 継続実施<br>年1回以上開催        | 子育て支援課 | 1回開催<br>30人参加  | A           | ・サポーター養成及び市民への周知のため、さらなる講座開催等活動をされることを期待。<br>・子育て支援サポーター養成はとても良い取り組みだと思えます。<br>・どのような内容の講座だったのか参加者以外にも要点が周知できるようになれば、「次回参加してみようかな」と考える方も増えるのではないのでしょうか。<br>・サポーター養成及び市民への周知のため、さらなる講座開催等活動をされることを期待。<br>・子育て支援サポーター養成はとても良い取り組みだと思えます。<br>・どのような内容の講座だったのか参加者以外にも要点が周知できるようになれば、「次回参加してみようかな」と考える方も増えるのではないのでしょうか。 | 令和3年10月から12月の間に、全4回の子育て支援サポーター養成講座を開催予定。<br>フォロー講座は、令和3年11月16日に開催予定。<br><br>子育て支援サポーター登録者数<br>2020年 53人<br>目標値<br>2021年 56人<br>2022年 59人<br>2023年 62人   | A             | 見直して継続<br><br>後期アクションプランでは、登録サポーターの子育て支援活動への参加も加味したうえで目標設定し、事業の推進を図る。     |
|                                  |                               | ② 幼児期に子どもたちが主体的に遊べる機会の充実 | 1. 公立保育園における自由保育の推進<br>P4          | 実施                                | 継続実施                   | 子育て支援課 | 新型コロナウイルス感染拡大により、園行事等に影響があったものの、保育所保育指針に則った保育を実践しました。<br>運動会は、「運動参観日」として年齢クラスごとに実施(10月1・2日)しました。   | A           | ・子供が自由な発想で遊ぶ・考える・出来た・達成感など、小さな芽が膨らみ開花する様暖かい目で見守ることができる取り組みになることを期待します。<br>・運動会を見て、子供達がいきいきしている姿が印象的でした。評価通りだと思えます。   | 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、園行事の見直しを行い、保育所保育指針に則った保育を実践している。<br>運動会は、「うんどう参観日」として年齢クラスごとに実施(10月1日)した。  | A             | 目標を達成し、事業が定着したことから後期アクションプランには掲げない。                                       |
|                                  |                               |                          | 1. 運動遊び・自然体験活動等による保育・幼児教育の充実<br>P5 | 実施                                | 継続実施                   | 子育て支援課 | 新型コロナウイルス感染拡大により、園行事等に影響があったものの、体験活動など地域資源を活用した保育を実践しました。一方、地域との交流活動は実施しませんでした。<br>運動指導士による助言及び指導等については、計画通り実施しました。年長児対象の里山活動についても全園実施しました。<br>信州型自然保育は、R2年10月13日付で認定更新しました。 | B           | ・今後の事業実施に期待します。  | 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、体験活動などの実施内容を見直しながら地域資源を活用した保育を実践している。地域との交流活動は、感染拡大に十分に配慮しながら実施について検討している。<br>信州型自然保育については、団体としての県の認定を令和2年度に更新し、認定の期間が令和7年10月12日までとなり、子どもたちの主体的な保育の中に運動あそびや自然活動を取り入れている。<br>地域との交流 9回<br>(内容:花植え、お花見、たんぼ、やきいも、おもちつき) | A             | 見直して継続<br><br>後期アクションプランでは、身体教育医学研究所が研究したPDCAサイクルを数値化したうえで目標設定し、事業の推進を図る。 |

| 基本目標                             | 基本施策                    | 個別施策                                       | 取組名  | 基準値<br>(令和元年度)                 | 目標水準<br>(令和3年度)       | 担当課                   | 令和2年度実績   | 令和2年度<br>評価                     | 評価に対する意見・要望等   | 令和3年度中間  | 令和3年度<br>中間評価  | 今後の方向性<br>(具体的な見直し、改善等)  |
|----------------------------------|-------------------------|--|--|--------------------------------|-----------------------|-----------------------|---|---------------------------------|--|--|--|--|
| 基本目標1<br>生涯にわたってスポーツに親しむ子どもたちの育成 | 1-2<br>小学期のスポーツへの円滑な接続  | ① 学校体育及び教科外・放課後活動充実のための専門的支援               | 1. 体力・運動能力等調査への専門的支援<br>P6                 | 実施                             | 継続実施                  | 文化・スポーツ振興課            | 新型コロナウイルスの影響によって、各種調査及び体力測定会の実施に至らなかった。   | C                               | ・市民にスポーツを促すきっかけづくりとして、各地区、各団体等に出向いての開催も検討。地域との連携を持った活動を期待。<br>・子供たちの運動能力を把握し課題解決に必要な活動だと思います。<br>・実施できれば支援する方向でよいと思うが、他のイベントの一部に組み込んだ方が、参加者を増やせると思います。     | 6月に身体教育医学研究所及びスポーツ推進委員の協力のもと全国体力・運動能力、運動習慣等調査を実施し、適正な調査結果を得た。  | A  | 見直して継続<br>後期アクションプランでは、身体教育医学研究所が研究したPDCAサイクルを数値化したうえで目標設定し、事業の推進を図る。  |
|                                  |                         |  | 2. 放課後子ども教室事業の実施<br>P7                     | 未実施                            | 各小学校月2回以上開催           | 文化・スポーツ振興課<br>教育委員会   | 「放課後遊び塾」は、新型コロナウイルス感染拡大防止による休校のため、授業数確保の観点から中止としたが、文化スポーツ振興課との共催による「元気塾」の協力を行った。北御牧小学校にて全4回実施。参加人数延べ78人。(全学年対象) | B                               | ・実施体制、実施回数を増やしてより活発な活動を期待。<br>・遊びからスポーツへの関心が進む事業活動だと思います。<br>・異年齢間の交流ができるこの活動はすきだと思えます。高校生の交流もコロナが落ち着いたと思ったら復活していただきたいです。<br>・実施内容をWeb上でPRしていくべきだと思います。    | 昨年度は北御牧小学校のみの活動であったが、5小学校を対象に活動現場を増やすことができた。新型コロナウイルスの感染状況を見て、田中小学校と北御牧小学校は1回ずつ。滋野小学校は予定していた日程を延期して、2回活動予定。各小学校2回ずつ。                           | B  | 見直して継続<br>後期アクションプランでは、子供の放課後活動への参加者及びボランティア等参加者も含めたうえで目標設定し、事業の推進を図る。 |
|                                  |                         | ③ 様々なスポーツ種目の体験や、一流選手等との触れ合いができる機会の提供<br>P8 | 1. 日本体育大学体操部との交流<br>P8                     | 実施                             | 継続実施                  | 文化・スポーツ振興課<br>教育委員会   | 9月2日(水)に昨年度同様の計画を立てたが、コロナ禍のため中止となった   | A                               | ・子供たちにとってなかなかできない体験としてとても良い機会。恒例行事として開催を望む。<br>・小学生にとって模範演技を鑑賞できることは驚きと共に憧れや興味を引く機会だと思います。選手との和やかな交流を通じてスポーツへの興味が一層芽生えることを期待します。<br>・中学生の交流もぜひ企画できるといいですね。 | 合宿直前まで開催を予定していたが、長野県上田圏域内の感染警戒レベル5であったことから、中止を余儀なくされた。交流会は中止となったが、チャレンジデーの実施にあたり、日本体育大学体操部に15分間の運動動画を作成いただき、市民への運動促進を図る予定である。                  | A  | 目標を達成し、事業が定着したことから後期アクションプランには掲げない。                                    |
|                                  | 1-3<br>中学生期のスポーツニーズへの対応 | ② 望ましい運動部活動のための支援体制づくり<br>P9               | 1. 運動部活動への支援体制づくり<br>P9                    | 未実施                            | 方針決定(支援体制、指導者のマッチング等) | 文化・スポーツ振興課<br>教育委員会   | ・東部中学校に部活動指導員2名を配置した。   | A                               | ・評価に値。次年度に向けて発展を期待。<br>・中学校の部活動は文科省の方向転換等に対応が変化し指導者にとって非常に悩ましい問題です。部活動指導員の配置数充実を図れるよう関係機関団体との連携協会に期待します。   | 令和4年1月に人材バンクを創設予定であり、学校の部活動顧問のみならず地域における支援体制の充実を図っていく。   | A  | 見直して継続<br>後期アクションプランでは、人材バンクの登録者数と公認資格取得者数を目標設定し、事業の推進を図る。             |
|                                  |                         |  | ③ 中学でのスポーツ離れを防ぐための「ゆる部活・ゆるスポーツ」等の導入<br>P10 | 1. 「ゆるスポーツクラブ」の設置に関する検討<br>P10 | 未実施                   | 方針決定(支援体制、指導者のマッチング等) | 文化・スポーツ振興課<br>教育委員会   | 令和3年度に両中学校各2回ずつ「ゆる部活」を行う計画を立てた。 | B  | ・新しい取組みで今後の結果に期待。<br>・気軽に楽しめるスポーツが体験できる機会として良いと思います。<br>・今年度は開催できることを願っています。<br>・「ゆるスポーツ」について、まだ一般の認知度が高くはないと思うのでそのあたりのPR・体験会の検討も併せて必要かもしれません。 | R4年度の部活動化に向けて教育委員会と協議を進めている。<br>R3年度内にプレ部活動を北御牧中学校で実施し、ゆるスポーツに関する意見を徴収する予定である。 | A  |

| 基本目標                          | 基本施策                             | 個別施策                                | 取組名  | 基準値<br>(令和元年度)  | 目標水準<br>(令和3年度)   | 担当課   | 令和2年度実績   | 令和2年度<br>評価  | 評価に対する意見・要望等  | 令和3年度中間  | 令和3年度<br>中間評価  | 今後の方向性<br>(具体的な見直し、改善等)                               |
|-------------------------------|----------------------------------|-------------------------------------|--|---|---|---|---|--|---|--|--|---|
| 基本目標2<br>誰もがスポーツを享受できる地域環境の充実 | 2-1<br>スポーツ機会のきっかけとなる機会(イベント)の充実 | ① 市民参加型スポーツ大会・教室の開催、チャレンジデーへの継続的取組み | 1. チャレンジデーへの継続参加<br>P11                              | 参加率60.3%  | 金メダルの獲得<br>参加率62%   | 文化・スポーツ振興課  | チャレンジデー東御市実行委員会を設置し、関係団体への協力依頼、また、広報・HP等による周知を行ったが新型コロナウイルス感染症対策によりチャレンジデーが中止となった   | C  | ・チャレンジデーで普段スポーツや体操をしない皆さんが楽しく参加できる機会となりました。参加者の輪を広め健康長寿に繋がる事業だと思えます。  | 今年度のチャレンジデーは、新型コロナにより10月開催となった。開催にあたっては、新型コロナ対策として、集合型イベントを控え、オンラインイベントを中心としたプログラムで開催を予定している。  | C  | 見直して継続<br>後期アクションプランでは、令和5年度での参加率63%を目標設定し、事業の推進を図る。  |
|                               | 2-2<br>青壮年期のスポーツ活動の促進            | ① 働き盛り世代へのスポーツ活動の普及・促進              | 1. 健康づくり事業(ウォーキング教室)<br>P12                          | 実施<br>①64歳以下:<br>男性 6,034歩<br>女性 5,320歩<br>65歳以上:<br>男性 4,723歩<br>女性 3,884歩<br>②男性:46.6%<br>女性:46.2%<br>③1,105人 | 継続<br>①64歳以下:<br>男性 6,100歩<br>女性 5,400歩<br>65歳以上:<br>男性 5,000歩<br>女性 4,200歩<br>②男性:46%以上<br>女性:46%以上<br>③1,100人以上 | 健康保健課   | 1 ①ウォーキング教室<br>実績:計14回<br>152人(予定含む)<br>実績:ポールウォーキング教室:4回<br>インターバル速歩教室:4回<br>スロージョギング教室:4回<br>湯の丸高原ウォーキング教室:2回<br>② 地区保健補導員と地域づくり協議会との共催によるウォーキング教室<br>実績:4地区実施(滋野地区のみ中止)<br>2 運動指導出前講座<br>実績:計9団体235人(予定含む)<br>その他各種運動教室<br>実績:43人(予定含む)<br>実績:ACE教室:1回、<br>特手健診受診者を対象とした運動教室:15回<br>実績:運動教室総参加人数<br>430人(予定含む) | A  | ・健康維持に最適なウォーキングは効果的だと思います。ウォーキング教室の開催数を増やし参加者を増やしていきましょう。開催日時と参加者の年齢層がわかるデータも欲しいです。<br>・内容の詳細が分からないのですが、文面では壮年向けであり、青年向けには見受けられなかった。参加者の年齢はどうだったか。ターゲットにあっているのかも明示してほしい。                        | キッカケづくりの教室を下記の通り行う予定<br>1 ウォーキングマップを活用したウォーキング教室を10月から実施中(計8回予定)。<br>①ウォーキング教室<br>実績:計1回開催4人参加(R2年度:年間14回156人)<br>実績:湯の丸高原ウォーキング教室:1回<br>ポールジョギング教室:0回(10/28、3/10実施予定)<br>スロージョギング教室:0回(1/13、2/4、3/4実施予定)<br>インターバル速歩教室:0回(11/1、3/14実施予定)<br>②地区保健補導員と地域づくり協議会との共催によるウォーキング教室<br>実績:1地区実施(和)<br>2 運動指導出前講座<br>今年度はこれまでに実施3件、参加者計43人<br>(R2年度:年間8回計235人)<br>3「健康経営」について企業へ啓発<br>健康お役立ち動画を作成し、配信中。 | A  | 経常的な取組みであり、第2次東御市健康づくり計画の取組みと重複するため、後期アクションプランには掲げない。 |
|                               |                                  |                                     | 2. 親子参加型スポーツ教室の実施<br>P13                             | 未実施   | ・教室開催(年間)<br>12回<br>・総参加人数(年間)<br>200人以上  | 文化・スポーツ振興課  | 東御市総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会が主催となり11月に親子参加型のユニバーサルスポーツ体験会を実施した。参加者は255人と多くの参加があった。  | A  | ・より一層の実績を期待。<br>・近年ユニバーサルスポーツがテレビなど報道で多く取り上げられて多くの皆さんに理解が広がっています。気軽に楽しめるスポーツですので大会なども開催できると良い。<br>・親子参加型イベントはとても魅力的だと思います。来年度はさらに内容が充実しそうで楽しみです。<br>・良い取組みだと思うので、回数を増やし、参加できる機会を増やしていくことを期待します。 | (公財)身体教育医学研究所と連携をし、芸術むら公園明神池にて「カヌー体験」を6月～9月の間、計4回実施した。<br>参加人数は延52名。   | A  | 見直して継続<br>後期アクションプランでは、教室開催回数や参加者数を目標設定し、事業の推進を図る。    |
|                               | 2-3<br>スポーツ施設(ハード)の整備と活用         | ① スポーツ施設の適正管理                       | 1. スポーツ施設長寿命化計画の策定<br>P14                            | 未実施   | スポーツ施設長寿命化計画(仮)策定   | 文化・スポーツ振興課  | 令和2年度は「東御市スポーツ施設個別施設計画」を策定した。   | A  | ・次年度の成果報告を要望<br>・スポーツ施設の老朽化による不具合や危険箇所は施設の指定管理「スポーツ協会」が詳細に把握しています。長寿命化計画策定はスポーツ振興課とスポーツ協会が密に連携し勧めしてほしい。<br>・スポーツ推進委員の認知度がもう少し向上すると良い。   | 昨年からのコロナ禍の収束が見通せず、数値にも影響を及ぼす懸念がある。   | A  | 目標を達成し、事業が定着したことから後期アクションプランには掲げない。                   |
| 2-4<br>地域スポーツ活動組織・人材等(ソフト)の充実 | ① スポーツ推進委員活動の強化                  | 1. スポーツ推進委員組織体制の検討<br>P15           | ・定例会の実施<br>・スポーツ事業への派遣<br>・上小スポーツ推進委員協議会活動<br>・検討、準備 | 体制強化組織の活動方針決定   | 文化・スポーツ振興課  | ・専門部制について総合型設立準備委員会に関わっている委員を企画部とし、計画の進め方について意見をもらっている。試験的なものであり、今後さらに部を増やしていく。<br>・地区担当制について委員の中で当市規模でうまく運営ができるか不安であるとの声があり、導入には至っていない。<br>・ボランティアスタッフについて、今年度スポーツ推進委員が企画運営をし行ったボルダリングイベントで4名のボランティアの協力があった。 | B   | ・東御市スポーツ推進委員として、より一層のスキルアップと活躍を期待。<br>・東御市スポーツ推進委員の強化は良いが過度な負担が生じないように注意してほしい。<br>指導者養成講座による資質向上は必要だと思います。スポーツ協会の競技力向上委員会で指導者講習会を本年は6回開催します。連携できる体制整備も検討ください。<br>・役割だけでなく、メリットを明示することによって担い手を増やしていくことを期待します。 | スポーツ推進委員主催のボルダリング体験会(自然の岩登り)を今年度2回開催した。東御市の地形を生かした活動を継続的に行い、興味関心を抱く市民獲得を目指す。<br>スポーツ推進委員の役割や目的を見直すきっかけとして、勉強会を予定している。   | B  | 見直して継続<br>後期アクションプランでは、スポーツイベントの企画開催数やスポーツ啓蒙活動などを目標設定し、事業の促進を図る。 |   |

| 基本目標                          | 基本施策                          | 個別施策                                | 取組名                            | 基準値<br>(令和元年度)                           | 目標水準<br>(令和3年度)                                   | 担当課        | 令和2年度実績   | 令和2年度<br>評価 | 評価に対する意見・要望等   | 令和3年度中間  | 令和3年度<br>中間評価 | 今後の方向性<br>(具体的な見直し、改善等)  |
|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------------|--------------------------------|--|---|------------|---|-------------|--|--|---------------|--|
| 基本目標2<br>誰もがスポーツを享受できる地域環境の充実 | 2-4<br>地域スポーツ活動組織・人材等(ソフト)の充実 | ③ 総合型地域スポーツクラブや人材バンク(仮称)の創設         | 1. 総合型地域スポーツクラブの創設・運営支援<br>P16 | ・設立準備委員会設置<br>・現状把握、ニーズ調査                | クラブ設立教室(プログラム)数:10<br>イベント開催:年間4回以上<br>会員数:200名以上 | 文化・スポーツ振興課 | 令和3年2月の設立予定であったが、新型コロナウイルスの影響により、設立までの事業計画が進めず、設立時の総合型地域スポーツクラブの財源となるtoto助成の設立要件を満たす事ができず、設立を1年(令和4年2月)に延期した。 | C           | ・次年度に期待。<br>・取組の概要にお示しのとおり関係団体との話し合いを十分に行い計画を進めてください。<br>・コロナ禍で先が見通せないですが、即実行できるよう準備していくよう期待します。                         | 令和4年2月の設立に向け、準備中。令和4年度プログラム、理事会の体制など設立に向けて整ってきている。また、実施プログラムについても8月・9月に体験会を実施。12月以降も計画をしている。   | A             | 見直して継続<br>後期アクションプランでは、教室数、イベント開催、会員数等を目標設定し、地域スポーツ環境の充実に向け、事業を推進する。           |
|                               |                               |                                     | 2. スポーツ指導員人材バンクの創設<br>P17      | 指導者育成事業補助金による支援                          | 「スポーツ指導員人材バンク」創設<br>・登録者数10人以上                    | 文化・スポーツ振興課 | 新型コロナウイルスによりスポーツ協会主催による指導者育成講座は中止とした。ボランティア養成のため総合型地域スポーツクラブ準備委員会による子ども見守り養成講座を5回開催し、延べ48名が参加。                | C           | ・取組の概要にお示しのとおり関係団体との話し合いを十分に行い計画を進めてください。<br>・コロナ禍で先が見通せないですが、即実行できるよう準備していくよう期待します。                                     | 令和4年1月に人材バンクの創設創設を予定している。スポーツ協会、総合型準備設立準備委員会、スポーツ推進委員等、既に指導者として関わっている方の登録のほか、12月の市報へ掲載し、市民への周知を行うことで、新たな指導者の発掘を行う。   | A             | 見直して継続<br>後期アクションプランでは、人材バンクの登録者数と公認資格取得者数を目標設定し、事業の推進を図る。                     |
|                               | 2-5<br>スポーツを通じたユニバーサルな地域社会づくり | ① 身近で実施できるユニバーサルスポーツ、レクリエーション活動等の充実 | 1. 一般介護予防事業<br>P18             | 実施活動の中心となるボランティアの増加、介護予防事業参加者の増加が課題      | ・介護予防ボランティア育成講習受講修了者数200人(令和2年度)<br>・事業参加者の増加     | 福祉課        | らくらく教室 247回1,934人<br>かんたん体操教室 22回280人<br>貯筋教室 22回354人<br>水中ウォーキング教室 25回387人                                   | B           | ・本当の指導者の育成については時間がかかると思うので、しっかりと取り組みをされ成果を期待します。<br>・とても大事な取組みだと思います。開催数や参加人数を見ても参加者の関心の高さが伺えます。健康寿命を目指し開催数を増やすことを要望します。 | 新型コロナウイルスの影響により、開催と休止を繰り返している。感染予防対策として、密を避けるために各回を2回に分けて開催するとともに、検温や手指消毒等感染予防を実施している。また、オンラインでの教室の開催について検討している。<br>(主な取り組み内容)<br>1らくらく教室(頭と体を無理なく刺激する介護予防教室) 各地区公民館で、それぞれ週1回通年で実施 (34回 457人)<br>2かんたん体操教室(ストレッチ、全身の筋肉を意識した運動)<br>3貯筋教室(腹筋やスクワットなどの筋カトレニング) 武道館において月2回通年で実施 (6回 70人)<br>4 転倒予防水中ウォーキング(水中でのストレッチ、ウォーキング等) 温泉アクティブセンターにおいて毎週1回通年で実施 (7回 104人) | A             | 見直して継続<br>後期アクションプランでは、「通いの場」(地域が主体となって介護予防運動等を行う場)を増やすことを目標設定し、一般介護予防事業を推進する。 |
|                               |                               |                                     |                                | ② 障がいの有無や地域の内外を問わずに多様な交流ができるスポーツイベント等の開催 | 1. とうみポッチャオープン大会の開催<br>P19                        |            | 未実施<br>※県、障がい者支援団体、みんなの健康×スポーツ実行委員会がそれぞれ開催  |             | コート常設数:6箇所以上<br>体験延べ人数:300人以上  | みんなの健康×スポーツ実行委員会<br>福祉課  |               | コート常設数2箇所<br>体験延べ人数386人  |

| 基本目標                          | 基本施策                          | 個別施策                           | 取組名                      | 基準値<br>(令和元年度)          | 目標水準<br>(令和3年度)                                       | 担当課   | 令和2年度実績   | 令和2年度<br>評価   | 評価に対する意見・要望等   | 令和3年度中間  | 令和3年度<br>中間評価   | 今後の方向性<br>(具体的な見直し、改善等)                            |
|-------------------------------|-------------------------------|--------------------------------|--------------------------|-------------------------|---|---|---|---|--|--|---|--|
| 基本目標2<br>誰もがスポーツを享受できる地域環境の充実 | 2-5<br>スポーツを通じたユニバーサルな地域社会づくり | ③ 市民の障がい者スポーツ・ユニバーサルスポーツとの触れ合い | 1. みんなの健康×スポーツ実行委員会運営支援  | 実施                      | ・実行委員会の開催<br>・ユニバーサルスポーツイベント開催<br>・とうみユニバーサルスポーツクラブ支援 | 文化・スポーツ振興課  | 実行委員会の実施4回<br>ユニバーサルイベントとして、緊急事態宣言解除後の6月から2月にかけ計8回のポッチャイベントを開催した。<br>また、公民館や学校のクラブ活動にスポーツ推進委員を講師として派遣し、ポッチャの普及活動に取り組んだ。 | B   | ・ユニバーサルスポーツに触れ合う機会をより多く計画し分館対抗スポーツ大会など多くの参加者で楽しめるよう事業計画を進めましょう。  | 実行委員会の実施3回<br>ユニバーサルイベントとして、9月末現在5回のポッチャイベントを開催している。10月中旬には市民を対象とした交流イベントを予定しており、より一層のポッチャの普及、障がい者への理解を深めていく。  | A   | 目標を達成し、事業が定着したことから後期アクションプランには掲げない。                |
|                               |                               |                                | 2. 公民館、児童館でのポッチャ活動       | 未実施<br>※各公民館にポッチャセットあり  | ・参加人数の増加<br>・練習会実施回数の増加                               | 教育課   | ・田中、祢津、和、滋野、北御牧児童館<br>コロナ感染症拡大防止のため、実施せず  | C   | ・ユニバーサルスポーツに触れ合う機会をより多く計画し分館対抗スポーツ大会など多くの参加者で楽しめるよう事業計画を進めましょう。  | 今年度、各児童館でポッチャ体験会の開催を検討している。12月、1月頃予定。  | B   | 進捗管理を行う事業ではないため、後期アクションプランには、掲げずに担当部局・関係機関と調整していく。 |
|                               |                               |                                | 未実施<br>※各公民館にポッチャセットあり   | ・参加人数の増加<br>・練習会実施回数の増加 | 生涯学習課   | ・分館活動においてユニバーサルスポーツの普及促進<br>・公民館に設置しているポッチャについての貸出の周知 | B   | 小中学校でのユニバーサルスポーツ体験は障がい者への偏見をなくす重要な取組みだと思います。ユニバーサルスポーツを通じて優しい思いやりのある心を育ててほしいです。 | ・中央公民館及び各地区館にあるポッチャ用具を各分館等に貸し出し、活用していただいている。<br>(貸出状況 祢津2団体3回 その他なし)<br>・2年連続で分館交流スポーツ大会が中止となり、ポッチャの実施はできていない。 | B  | 見直して継続<br>分館交流大会でポッチャの実施を検討しており、ポッチャ参加者及び練習会実施回数を目標設定し、事業を推進する。 |  |
|                               |                               |                                | 3. 小・中学校におけるユニバーサルスポーツ体験 | 未実施                     | 年間2回実施  | 教育課   | 令和3年度に各小学校6年生を対象に「パラウェーブNAGANO教育プロジェクト」の一環として、障がい者スポーツに取り組む計画を立てた。  | A   | ・事業を成功させるための重要な課題です。必要と思われる政策は躊躇なく実施するよう要望します。<br>・とても良いと思います。より多く取り組めることを期待します。                               | (1)パラリンピックの関わる授業の提供<br>・学校教育係の指導主事が、5小学校の6年生に、パラリンピック教育教材「mPOSSIBLE」の1時間の授業を出前授業を行いました。パラリンピックの価値＝勇気・強い意志・公平・インスピレーションについて、グループワークを用いて考えあいました。児童は事前に、ポッチャ、シッティングバレーボール、車いすバスケットボールなどを体験していました。<br>9月28日 滋野小 北御牧小<br>9月29日 祢津小 以上実施済み<br>10月25日 和小<br>11月11日 田中小 以上実施予定 | A   | 目標を達成し、事業が定着したことから後期アクションプランには掲げない。                |

| 基本目標                              | 基本施策                   | 個別施策                                    | 取組名                                | 基準値<br>(令和元年度)  | 目標水準<br>(令和3年度)   | 担当課  | 令和2年度実績   | 令和2年度<br>評価   | 評価に対する意見・要望等  | 令和3年度中間   | 令和3年度<br>中間評価  | 今後の方向性<br>(具体的な見直し、改善等)  |
|-----------------------------------|------------------------|---|------------------------------------|---|---|--|---|---|---|---|--|--|
| 基本目標3<br>スポーツによる地域経済の活性化          | 3-1<br>スポーツツーリズムの推進    | ① 地域スポーツコミッションの設立                       | 1.「地域スポーツコミッション」の運営支援<br>P23       | 設立に向けた検討・準備   | ①20,000人以上<br>②200,000千円超<br>③16,000泊以上   | 文化・スポーツ振興課   | 合宿受入の予約・精算等を一元的にすることで、利用者の利便性が向上した。新規顧客獲得を目的としたイベント開催については、新型コロナウイルスの影響により実施できなかったものの、関係施設における感染拡大防止策の策定、各種補助金を活用した必要物品の導入など関係者と連携した対応を行った。 | B   | ・コロナ禍におけるの事業としては、大きな施設を抱え、マイナス要因が懸念される。コロナ禍にあってもスポーツツーリズムを活かすことのできるよう解決策が見いだせたらと思う。<br>・事業を成功させるための重要課題です。必要と思われる政策は躊躇なく実施するよう要望します。<br>・一元的な予約方法がWeb上で見つけられなかったので改善することでより合宿地として選ばれる可能性が増えると思います。  | 湯の丸高原での合宿受入について、コロナ禍による受入制限があったものの、多くのオリンピック・パラリンピック事前合宿の利用があり、地域経済が活性化した。また、湯の丸高原に新しく整備した宿泊施設の指定管理を受託することで新たな職員を雇用し、受入体制の強化が図られた。  | A  | 見直して継続<br>新宿泊施設の開設等により、交流人口、宿泊者数も変化するため、目標の見直しを行ったうえで事業を推進する。              |
|                                   |                        | ② 湯の丸高原スポーツ交流施設等でのイベント開催や合宿受入           | 1. スポーツツーリズムイベントの開催<br>P24         | スポーツ合宿者数(陸上・水泳)延べ宿泊数13,000人   | スポーツ合宿者数(陸上・水泳)延べ宿泊数16,000人   | 文化・スポーツ振興課   | 年度当初、スポーツツーリズムイベントの開催を、陸上1回、水泳2回予定していたが、新型コロナウイルスの影響で開催できなかった   | C   | ・コロナ禍におけるの事業としては、大きな施設を抱え、マイナス要因が懸念される。コロナ禍にあってもスポーツツーリズムを活かすことのできるよう解決策が見いだせたらと思う。<br>・上記のとおりですがスポーツイベント開催に合わせ地元食材を生かしたイベントの同時開催など魅力ある取り組みも必要だと思います。「信州黄金シャモ&牛肉ステーキ&ワイン&安心おいしいフレッシュサラダ」<br>・コロナ禍でどのようなことができるのかR2年度を踏まえ検討し、できることを実行していくよういたします。                         | オリンピック関連誌への事前合宿地として広告掲載を行った。<br>イベント開催については、9月に陸上イベントの開催を計画したが感染拡大のため中止とした。今後、12月に今後高地トレーニングの導入を検討している指導者向けの水泳セミナーを開催予定。  | B  | 見直して継続<br>スポーツ合宿者数やスポーツツーリズムイベントの開催を目標設定し、交流人口の拡大、知名度向上、集客増加等地域経済の活性化を目指す。 |
|                                   |                        | ④ ホストタウン事業の推進                           | 1. モルドバ共和国ホストタウン交流事業<br>P25        | モルドバ共和国大統領、オリンピック委員会の視察   | 関連事業への参加者数1,000人<br>※令和2年度中に達成  | 企画政策係  | 令和2年9月駐日モルドバ大使送別会。<br>令和3年2月市内保育園においてモルドバのおやつ交流   | B   | ・コロナ禍におけるの事業としては、大きな施設を抱え、マイナス要因が懸念される。コロナ禍にあってもスポーツツーリズムを活かすことのできるよう解決策が見いだせたらと思う。<br>・前項と同様ですが、オリパラアスリートとの交流会は魅力的だと思います。子供も大人も楽しく参加できる工夫が必要です。東御ワインに劣らずモルドバワインも美味しいですよ。<br>・コロナ禍において直接の交流は難しいと思います。おやつ交流のアイデアは素敵です。<br>・学会参加以外にも県内の大学企業との共同研究棟をより積極的にやっていくことは可能でしょうか？ | -   | -  | 東京オリンピック・パラリンピックの終了したため、後期アクションプランには掲げない。                                  |
|                                   | 3-2<br>スポーツを活かした地域の活性化 | ① 産官学等の連携による湯の丸高原での高地トレーニング及びツーリズムの知見蓄積 | 1. 湯の丸高原スポーツ交流施設整備に伴う経済効果検証<br>P26 | 新規整備・運営に係る情報収集(関係者へのヒアリング等)実施   | 地域活性化モデルの構築   | (1)地域経済付加価値のシュミレーション<br>①追加で派生した民間事業の把握と検証<br>②既存施設の運営パターンの変更による地域経済付加価値の変動分析<br>(2)波及的な消費に関する分析<br>(3)経済的価値を高めるための方策の検討・提案<br>対象:<br>・1年目の施設の整備及び運営<br>・その他、周辺の民間事業 | 文化・スポーツ振興課  |   | B   | ・コロナ禍におけるの事業としては、大きな施設を抱え、マイナス要因が懸念される。コロナ禍にあってもスポーツツーリズムを活かすことのできるよう解決策が見いだせたらと思う。<br>・湯の丸スポーツ施設整備に伴う経済効果並びに地域経済付加価値については東御市民だけではなく多くの皆さんの非常に強い関心ことです。慎重に検討し、検証・分析結果については分かりやすい説明を要望します。<br>・学会参加以外にも県内の大学企業との共同研究棟をより積極的にやっていくことは可能でしょうか？ | 昨年からのコロナ禍の収束が見通せず、数値にも影響を及ぼす懸念がある。   | B  |
| 2. 「高所トレーニング国際シンポジウム」の開催支援<br>P27 |                        | 実施<br>湯の丸高原スポーツ交流施設において開催               | 東御市での開催一般参加者100名以上                 | 今年度、他県において開催予定であった高所トレーニング国際シンポジウムは、新型コロナウイルスの影響により中止となった。<br>来年度の開催地はまだ決定していないが、今後も投資にとっても有益となる当シンポジウムへ協力していく。 | 文化・興スポーツ課   |  | B   | ・高地トレーニングシンポジウムは広く、一般に知られておらず本市において開催されたことは内外的に知名度向上につながる事と思う。東御市が高所トレーニングのメッカであることをアピールするために再度の開催を要望します。 | 今年度、他県において開催予定であった高所トレーニング国際シンポジウムは、新型コロナウイルスの影響により中止となった。<br>来年度の開催地はまだ決定していないが、今後も本市にとっても有益となる当シンポジウムへ協力していく。   | B   | 見直して継続<br>2028年の長野県国民体育大会に向け、県内の高校・大学生をターゲットとした高地トレーニングセミナーを開催し、県内アスリートの合宿誘致を推進する。 |  |
| ② 専門機関等とのサポート連携協定の推進              |                        | 1. 大学等との包括連携協定による地域スポーツ環境の充実<br>P28     | 未実施                                | スポーツ合宿延べ宿泊者数(陸上・水泳)16,000泊  | 【高地合宿向け食事メニューの監修・助言】<br>女子栄養大学へ高地トレーニング合宿向け食事メニューの監を委託した。監修により飛躍的に内容が改善され、利用者からも高い評価を得ている。<br>【経済波及効果に向けた施策提言】<br>昨年度に引き続き、日本体育大学に効果検証を委託した。関連企業にヒアリングを行い、高地トレーニング施設に関連した地域経済付加価値のシュミレーション、波及的な消費の分析、経済的価値を高めるための方策を検証した。 | 文化・スポーツ振興課   |   | A   | ・トップアスリートにとってトレーニング合宿施設の食事は大きな楽しみと同時に気持ちの安らぎにも大きな役割を持っていると思う。料理の味を決めるのは見た目が8割とも言われる。栄養バランス+美味しさ+視的美を追求。<br>・やはり、食事のサポートは重要だと思います。   | 【女子栄養大学による食事監修】<br>高地トレーニング合宿において提供する食事について、女子栄養大学の監修を受け、高い評価を得ている。今年度は、オリンピック・パラリンピック事前合宿の補食対応へも支援となった。<br>【日本水産との市民向け健康づくり】<br>日本水産と協力し、市内全小中学校の給食に上記の食事を提供し、子どもたちに向けた食育支援を実施した。  | A  | 継続<br>後期アクションプランでは、利用者満足度を目標設定したうえで事業を推進する。                                |

| 基本目標                       | 基本施策                            | 個別施策                                      | 取組名                                       | 基準値<br>(令和元年度)             | 目標水準<br>(令和3年度)                   | 担当課  | 令和2年度実績   | 令和2年度<br>評価  | 評価に対する意見・要望等  | 令和3年度中間  | 令和3年度<br>中間評価 | 今後の方向性<br>(具体的な見直し、改善等)   |
|----------------------------|---------------------------------|---|---|----------------------------|-----------------------------------|--|---|--|---|--|---------------|---|
| 基本目標4<br>競技スポーツ人口の拡大と競技力向上 | 4-1<br>スポーツ愛好から競技志向への円滑な接続      | ① トップレベルの競技スポーツの魅力に触れる機会の提供               | 1. トップアスリートとの交流イベント開催<br>P29              | 実施                         | 年間1回以上開催<br>参加者100名程度             | 文化・スポーツ振興課   | GMOアスリート(陸上長距離実業団チーム)及び金藤理絵さん(水泳金メダリスト)との交流、練習指導イベントを予定していたが、新型コロナウイルスの影響により中止となった。       | C  | ・トップアスリートとの練習見学やふれあいの場は、水泳・陸上選手として頑張っている子供たちには良い刺激となります。まずは多くの子供達が湯の丸に来ていただき高所トレーニングのメッカの雰囲気分かってくれたらと思います。<br>・実施を期待します。  | 9月にGMOアスリート(陸上実業団チーム)及び元オリンピックを誘致した市民との交流イベントを予定したが、感染拡大により中止とした。  | C             | 継続<br>後期アクションプランでは、引き続き、イベントの開催回数及び参加者数を目標設定し、事業を推進する。                              |
|                            |                                 | ① 強化選手や一流指導者等への奨励・表彰制度の充実                 | 1. スポーツ表彰制度の創設<br>P30                     | 未実施                        | 制度創設・実施                           | 文化・スポーツ振興課   | 制度創設に至らなかった。<br>来年度、他市町村を参考にするなど今後の検討としたい。  | C  | ・東御市スポーツ協会でも5.10.15周年記念事業において成績優秀者へ表彰並びに功労者表彰を行っています。スポーツ振興課とスポーツ協会での情報交換も良いと思います。<br>・実施を期待します。  | 東御市スポーツ協会及び総務課(表彰担当部局)へ表彰制度導入へ向け調整中。   | B             | 進捗管理を行う事業ではないため、後期アクションプランには、掲げずに担当部局・関係機関と調整していく。                                  |
|                            | 4-2<br>高みを目指す人々への支援             | ② 競技レベルに応じた練習環境に移行するための支援                 | 1. スポーツ体験会・スポーツ能力測定会の実施<br>P31            | 未実施                        | ①年間2回開催<br>②年間2回開催<br>総勢100名程度の参加 | 東御市スポーツ協会  | 総合型地域スポーツクラブと連携しニュースポーツを体験する「おもしろスポーツ体験会」を開催し、200名を超える参加者があった。                            | B  | ・より一層の成果を期待。<br>・子供から大人まで幅広く参加できる楽しい取り組みです。気軽に参加できるニュースポーツや普段あまり体験できない運動測定会は楽しみながら運動能力を自己判断できる楽しみもあります。PR活動で参加者の増員を希望します。<br>・実施内容は良いが普及色が強うように思われます。スポ少などと連携し、定期的な測定、フィードバックの継続ができるよう検討を期待します。また、データの活用法なども必要になると思います。 | 9月にGMOアスリート(陸上実業団チーム)及び元オリンピックを誘致した市民との交流イベントを予定したが、感染拡大により中止とした。<br>今後、12月に今後高地トレーニングの導入を検討している指導者向けの水泳セミナーを開催予定。 | B             | 継続<br>後期アクションプランでは、引き続き、体験会・測定会の開催回数及び参加者数を目標設定し、個々の運動能力や適正に応じた多様なスポーツメニューの提供を促進する。 |
|                            |                                 | ③ 高地トレーニング環境整備と連動したトップアスリートや指導者等の招聘       | 1. 湯の丸高原スポーツ交流施設合宿者との交流会・実技指導教室の開催<br>P32 | 未実施                        | 陸上:年間2回以上開催<br>水泳:年間1回以上開催        | 文化・スポーツ振興課   | 高地トレーニングを取り入れたい指導者向けに、練習方法、指導方法を学ぶセミナーを企画したが新型コロナウイルスの影響により中止となった。<br>予定講師:日本体育大学准教授岩原文彦氏 | B  | ・良い成果を得て次年度に期待。<br>・高地トレーニングを取り入れたい指導者への研修会はどこまでもできる研修ではないと思います。当市の強みを十分生かした研修会実施を希望します。高所トレーニングのメッカを目指す当市の大きな役割だと思います。   | 9月にGMOアスリート(陸上実業団チーム)及び元オリンピックを誘致した市民との交流イベントを予定したが、感染拡大により中止とした。<br>今後、12月に今後高地トレーニングの導入を検討している指導者向けの水泳セミナーを開催予定。 | B             | 継続<br>4-1-①-1と類似しており、と統合して目標をたてる。   |
|                            | ④ 東御市、湯の丸高原へのスポーツ合宿した選手やチームへの応援 | 1. 東京2020オリンピック競技大会コミュニティライブサイトの実施<br>P33 | 未実施                                       | ①来場者数1,700人<br>②来場者数1,000人 | 文化・スポーツ振興課                        | 東京2020オリンピック競技大会延期に伴い、コミュニティライブサイトも延期とした。<br>次年度について、新型コロナ感染拡大防止の観点からも中止とする。 | -   | ・新型コロナの状況下にパブリックビューイングを行うのは現実的ではなく、やむを得ないことから評価はなしとする。 | -   | -  | -             |   |